

鶏卵肉の消費を伸ばそう

岡山県養鶏協会（会長惣津律士）では、最近の鶏卵肉価の低迷によって窮地におちいつている養鶏経営を救うため、各界よりの後援、協賛を得て、昭和40年度岡山県鶏卵肉消費促進事業をすすめて鶏卵肉需要の拡大を図ることにしている。

昭和40年度 岡山県鶏卵肉消費促進事業計画

1、主催

岡山県養鶏協会

2、後援

農林省 岡山県

3、協賛

畜産振興事業団、日本飼料協会 日本養鶏協会、全販連、全購連、日本卵業協会

中国、日興、中国物産、加藤、日本農産、日配、中部、協同、みなと、日清、太洋、菱和、呉、日和、アミノ各飼料会社

キューピー株式会社、製菓メーカー

4、事業の目的

最近の鶏卵および鶏肉価格の低迷は長期化して、養鶏経営は危機に瀕している。そこで、岡山県養鶏協会は関係機関の協力を得て、鶏卵肉消費促進事業をおしすすめて、地方都市および農村における鶏卵肉の潜在需要を喚び起して消費の拡大を図り、これによって養鶏の振興とあわせて県民の栄養改善に役立てようとするものである。

5、行事

(1) 鶏卵肉消費促進週間

①昭和40年7月26日～7月31日

②昭和41年3月22日～3月26日

以上の期間を鶏卵肉消費促進週間として、消費の促進助長に努力する。

(2) 広報活動の要領

ラジオ、新聞を使って一般に呼びかけ、さらにポスターを掲示したり、アドバルンを掲揚して宣伝の効果あげる。

(3) 販売店での廉売

県内主要都市の鶏卵肉販売店および阪神地区（阪急百貨店、そごう百貨店、神戸大栄スーパー等）の販売店約200店で鶏卵肉の廉売をする。これら販売店の店頭では、横幕、宣伝用ちょうちん、ポスターで飾るとともに、宣伝用ローンパック、マッチ、ゴム風船、料理テキスト（3万4千部）をくばり、もっぱら消費の拡大に努める

(4) 住宅団地向け消費宣伝

県南主要都市の住宅20ヶ所に対し、積極的に宣伝カーおよびキッチンカーを走らせて移動宣伝を行うとともに、簡易な鶏卵肉料理の普及と廉価販売を行う。

(5) 鶏卵肉料理の講習会の開催

都市での消費促進を図るとともに、農村の潜在需要を喚起するため鶏卵肉料理法の普及を図る。

①リーダー養成講習会（昭和40年7～8月）

県内主要都市と農村部に設置されている約100ヶ所の栄養教室において、1,000名の婦人代表を対象として鶏卵肉料理普及リーダーとしての講習を行い、これについて必要な材料費、テキスト等は無償配布をする。

②伝達講習会（昭和40年8～10月）

①の講習を受けたリーダー（1,000名）は、地区保健所の栄養担当者の指導のもとに一般家庭婦人（3万名）を対象に鶏卵肉の生活へのとり入れ方、料理法等につき、伝達、講習を行う。

③普及実績発表会の開催（昭和41年3月）

料理講習会終了後、一定期間ののち、岡山市において実績発表会を行う。

1、鶏卵肉の生活へのとり入れ方についての体験を発表する。

2、参加者代表による鶏卵肉の料理献立コンクールを実施する。

3、記念講演（講師、香川綾氏予定）を行う。